

2022年5月19日

各位

会社名 I N E S T 株式会社
代表者 代表取締役社長 執行健太郎
(コード番号: 3390 東証スタンダード)
問合せ先 管理本部 広報・IR
(TEL: 03-4216-2277)

法人税等調整額の計上および通期連結業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2022年3月期通期（2021年4月1日～2022年3月31日）において、法人税等調整額の計上を行うとともに、2021年5月20日に公表しました2022年3月期の通期連結業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

1. 法人税等調整額の計上について

当社は、当期の業績を踏まえ、繰延税金資産の回収可能性について慎重に検討した結果、税効果会計に係る繰延税金資産の一部を取り崩し、法人税等調整額（損）として99百万円を計上いたしました。

2. 通期連結業績予想値と実績値との差異について

①2022年3月期連結業績予想と実績値との差異（2021年4月1日～2022年3月31日）

	売上収益	営業利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株当たり 当期利益
前回発表予想 (A)	百万円 5,500	百万円 100	百万円 50	円 銭 0.57
実績値 (B)	6,626	70	△58	△0.65
増減額 (B-A)	1,126	△29	△108	
増減率 (%)	20.5	△29.4	-	
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)	4,890	114	203	2.68

(注)「(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)」については、当社が2022年3月期より国際財務報告基準を任意適用することを決定したため、IFRSに基づき算出しております。

②差異の理由

当社は、2021年5月20日公表の「2021年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」に記載のとおり、2022年3月期の連結業績予想において、通期連結累計期間における連結業績予想を公表しておりますが、売上収益については、事業投資を積極的に行ったことから計画より大幅に上振れる結果となりました。一方で、営業利益については、メイン事業への投資回収期間が想定より伸びたことで、一部2022年3月期にずれ込んだ結果、計画を下回る数値となりました。

また、親会社の所有者に帰属する当期利益におきましては、「1. 法人税等調整額の計上について」に記載の理由により、計画を下回る数値となりました。

以上